

## 現行計画の中間的総括

### これまでの経過

- ・ 現行の環境基本計画においては、各部会の報告書において合計124の提案プロジェクトが提示されていますが、平成13年度に策定されてから平成20年度まで、実施内容について、市内において十分な実施可能性を十分に検討してこなかった経過がありました。
- ・ そのため、平成20年度に各部会の提案プロジェクトのうち行政主体のものについて、進捗管理を行うため「長岡京市環境基本計画実施計画」を策定しました。
- ・ 平成22年度の目標項目として、97の提案プロジェクト（事務事業としては100項目）の達成を目指しました。

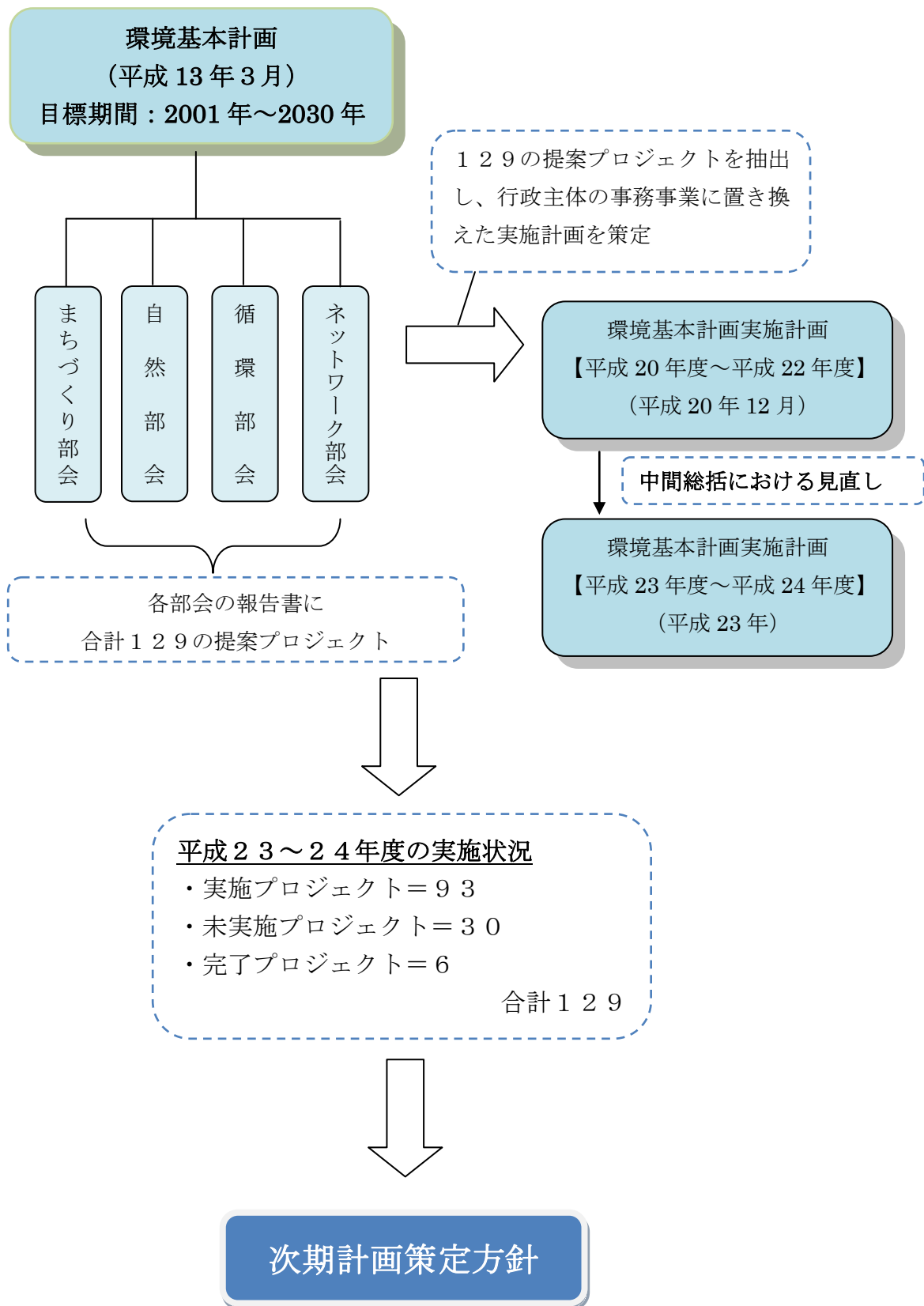
### 達成の概況

- ・ 平成22年度の達成度評価では、100事業中84事業で目標が達成され、16の事業が未達成となりました。
- ・ 平成23年度から実施計画については、平成22年度までの取組みや「長岡京市第3期基本計画」の目標を踏まえて、見直しを行いました。
- ・ その結果、目標を達成したプロジェクト6事業を終了し、12の事業の追加や見直しを行いました。
- ・ 新規の追加分には、「長岡京市温暖化対策実行計画（区域施策編）」の推進と、環境基本計画を見直すにあたり、「市民による評価手法の確立」について、検討することとしました。
- ・ その結果、提案プロジェクト数は、97から93に減少しましたが、事業が完了したものが6事業あることから、実質2事業の増となっています。
- ・ 平成22年度の達成事業の主な内容としては、西山の森林整備面積の拡大や地球温暖化対策として、家庭用太陽光パネルや雨水タンクの設置助成を行うなど、本市の状況を見極めた取組みを推進してきました。
- ・ 主な未達成の事業としては、施設の年間利用者数やレンタサイクルの設置台数、古紙回収量などでした。これは、目標値達成のための施策や予算措置を行えなかったことが大きな要因です。

### 今後の方針

- ・ また、長期スパンの計画であることを踏まえて次期計画においては、柔軟な課題対応が行えるよう、具体的な施策を計画に盛り込むのではなく、10年程度を目安に、市の環境政策の方向づけとなる計画を策定していくべきと考えます。
- ・ そして、「つむぎ織りなす“環境の都”長岡京」の姿に近付いているかどうかを、端的な達成指標により把握する必要があります。
- ・ 達成指標については、市民に分かりやすいものとなるよう、計画策定過程において、市民や環境団体などと合意形成を図る中で、決定していきたいと考えます。

## 環境基本計画と実施計画の関係図



実施提案プロジェクトとは…環境基本計画で各部会から提案されているプロジェクト  
 未実施提案プロジェクトとは…提案プロジェクトの中で、検討の結果、実施内容が  
 決定しておらず、未実施となっているプロジェクト  
 実施事業とは…プロジェクトに基づき、市で実施している事業

### 1. 実施計画における提案プロジェクトの実施数について

	平成20～22年度	平成23～24年度	増減
実施提案プロジェクト数(実施事業数)	97 (100)	93 (98)	△4 (△2)
未実施提案プロジェクト	32	30	4
完了プロジェクト	0	6	6
合計			129

### 2. 平成22年度 実施事業評価について

達成	未達成	事業合計
84	16	100

### 3. 平成23～24年度実施計画 提案プロジェクトの見直しについて

	合計	プロジェクト増減	実施事業増減
未実施→実施プロジェクトに見直し	2	2	2
実施提案プロジェクトの実施内容を見直し	8	0	0
実施提案プロジェクトに新たな事業を追加	2	0	2
合計	12	2	4

事業を完了したプロジェクト	プロジェクト数	実施事業数
	6	6